

山 兼 待



大阪大学経済学部同窓会

2016年（平成28年）4月1日 第32号

ホームページ <http://www.machikaneyama.jp>



「経済」の原点に 立ち返った教育と研究を

同窓会名誉会長
経済学研究科長・経済学部長

堂目 卓生

平成27年8月26日付で経済学研究科長・経済学部長に就任いたしました堂目卓生です。専門は経済学史・経済思想です。

「経済」を表す英語「economy」の語源は、ギリシャで用いられていた「oikos-nomos」にあると言われています。それは、「家」(oikos)に関する「法」(nomos)のことであり、一家の生活を維持するために限られた資源を無駄なく配分するルールを意味しました。また、「oikos」を「都市国家」と解して、一国における最適な資源配分のルールを意味することもありました。こうしたルールに関する秩序立った考察は、アリストテレスの『政治学』や『ニコマコス倫理学』の中にすでに見ることができます。

日本において「economy」の訳語として「経済」という言葉が定着したのは明治時代です。それは「経世済民」、つまり「民を救って世を治める」という意味をもった言葉でした。

このように、「economy」にも「経済」にも、限られた資源を使って、家、国、民などの共同体の仲間を貧困から救い、互いに平和に暮らすという願いが込められていると言えます。そして、その願いを叶えるための学問が「economics」、あるいは「経済学」にほかなりません。

グローバル化が進む現代、複雑さと不安定さを増す経済。今や「oikos」は「家」や「国家」を超えて「世界全体」を意味する言葉として捉えられなくてはなりません。「民」も「人類全体」と考えなくてはなりません。「世界全体の資源配分に関する規則、人類全体を貧困の苦しみから救う道筋」こそ、21世紀の経済学が立ち向かうべき課題だと思います。

創設以来、日本における経済学研究の発展を担ってきた本学部・本研究科は、このような意識に立って、最先端の研究を進めるとともに、学部生・大学院生の教育を行っていかなくてはならないと考えます。より具体的には、たとえば学部生については、以下のような能力を身につけた人材の育成を目指します。

- (1) 世界に通用する経済学や経営学の基礎知識を体系的に習得している
- (2) 論理的に思考する能力をもっている
- (3) 専門知識にもとづいて現実の経済・経営問題を理解する方法を習得している
- (4) 人間社会および自然界に関する幅広い教養を身につけている
- (5) 未解決の問題に対して、解決までの道筋を自らのアイデアで作り上げていくデザイン力を備えている
- (6) 自国の経済問題だけでなくグローバルな諸問題にも関心をもっている
- (7) 日本人および外国人と心を開いて対話するコミュニケーション能力がある
- (8) 自分の考えや意見を論理的に、そして説得力をもって話したり書いたりする能力を身につけている

これらの能力は在学中だけでなく、卒業後も引き続き伸ばし続けなくてはならないものです。それらの能力の中には仕事や人間交際によって獲得できるものもありますが、更新され整理された知識によって補わなくてはならないものもあります。本学部・本研究科は、経済学部同窓会との連携を保ちながら、セミナーやシンポジウム、懇話会等を通じて、卒業生の生涯教育・生涯研鑽の一翼を担いたいと考えています。また、人文・社会科学系の学問の有用性が問われる昨今、「有用性」の意味を問い直しながら、卒業生のみならずとの交流を深め、さまざまな意見に耳を傾けることにより、本学部・本研究科も進化を続けていきたいと思っております。

創立70周年を迎える平成30年を見据えながら、経済学部同窓会とのより深い関係を築けるよう全力を尽くす所存です。みなさまのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



同窓会長ごあいさつ

今こそアニマルスピリッツを

経済学部同窓会 会長 古川 実
日立造船(株)代表取締役会長 (新14期)

同窓会報「待兼山(第32号)」の発行に当り一言ご挨拶申し上げます。

まず、同窓会活動への皆様のご理解とご協力に心よりお礼申し上げます。

さて、わが国経済は平成28年新年早々より僅か1週間で株価が2,000円以上下落、2月初旬には日経平均が一時15,000円を割り込み、為替相場も10日余りで10円以上円高となり、一時1ドル110円台を付けるなど波乱の幕開けとなりました。

昨年は来日外国人が1,973万人に達し、いわゆる爆買いが流行語になるほど消費景気に好影響を及ぼしましたが、昨年10月～12月の実質GDP成長率は年率▲1.1%とやや景気は弱含みに推移しています。27年度政府補正予算、28年度政府予算の早期執行と共に景気が順調に回復軌道を取り戻し、来年4月からの消費税引き上げが予定通り行われることを強く期待したいものです。

本年度のわが国経済に大きな影響を与える世界景気の動向は第1に中国景気、第2に原油を始めとする資源価格の低落ではないかと言われています。

27年度のわが国企業収益でも中国景気の減速および資源(原油)価格の低迷により大きな減益を余儀なくされる企業と史上最高益を更新する企業にははっきり明暗が分かれています。

本年度のわが国経済に影響を及ぼす要因はこの海外2大要因に加え、一番大きな国内要因はやはり本年度の春闘賃上げの行方です。まだ結果は出ていませんが、新アベノミクスによる2020年代初め頃までの600兆円経済達成に向けて、GDPの60%を占める内需拡大には相応の賃金上昇が不可欠です。

弊社も会社の収益力の範囲内で出来る限り職員の努力に報いる方針で取り組んでいます。賃上げは経済成長の果実を適正に雇用者へ配分するものです。

従って経済成長が何より重要です。アベノミクスの3本の矢のうち金融政策、機動的な財政政策の効果は出ているものの、肝心の成長戦略はまだまだと言われています。

この成長戦略は政府がバウンダリーを整え、実行する主体が我々民間であるため、一番時間が掛かっているのです。本年度は法人実効税率は29%台まで低下しますが、規制緩和の一層の推進、TPPの早期批准等を通じ、わが国の潜在成長率の向上を図らなければなりません。そして、最も大事なこと

は成長戦略の担い手である我々民間企業が、企業の究極の目的は成長することであり、そのために企業ガバナンスの強化が不可欠であることを認識し、企業経営をしてゆくことあります。

この企業ガバナンスの強化に向けて二つのコードがあり、政府、東京証券取引所により設定されました。一つは機関投資家に求められるスチュワードシップコードであり、投資する企業との対話を通じ当該企業に成長を促すものです。

もう一つのコーポレートガバナンスコードは、企業自体に成長戦略を促すものです。その肝とするところは取締役会の活性化です。わが国の企業トップ(会長、社長)は社内出身者が殆どであり、社内取締役はトップの解任はなかなか出来ません。また、社内トップでは低採算事業からもなかなか撤退出来ません。これらを適切に実行させ、企業を持続的に成長に導くべく複数の社外独立取締役を選任することが求められたのです。平成27年5月以降、株主総会を迎えた企業からこのコードが適用され、それ以降毎年実施状況を公表することが義務付けられました。弊社でも10名の取締役のうち現在2名が社外独立取締役であり、平成28年6月より更に増員する予定です。現在、取締役会は大いに活性化しておりますが、一層の活性化を目指します。

勿論、成長は短期的なものではなく、全てのステークホルダーを考慮に入れて長期的な発展を考えなければなりません。

その上で、この二つのガバナンスコードが有効に作用することにより、人・物・金の3大経営資源が最高効率で活用されることになるのです。

即ち、低採算事業から成長事業への経営資源の絶えざる入替えにより、持続的な企業価値の向上を図ることがガバナンス(企業統治)に他なりません。

IoT、AIを活用した第4次産業革命に乗り遅れることなく、わが国が世界最速の高齢化社会を乗り切り豊かな未来を展望出来る国になるため、企業人は今こそアニマルスピリッツを発揮し、GDP600兆円経済の実現にチャレンジしなければなりません。

その未来に貢献出来る有為の経済人を輩出する大阪大学経済学部の今後益々の発展を期待してやみません。

最後にこの会報が皆様のかげはしとなることを願い、皆様のご健勝を祈念してご挨拶とさせていただきます。

同窓会ゴルフコンペのお知らせ



これまで「同窓会懇親ゴルフコンペ」は総会の翌日に開催しておりました。昨年の総会後の懇親ゴルフコンペで、交流の機会として今年も開催することになりました。詳細はあらためてホームページ等でご案内しますが、開催日と場所をお知らせします。お誘い合わせのうえ、奮ってご参加ください。

日 時：平成28年7月3日(日) 8:49スタート

場 所：関西クラシックゴルフ倶楽部
〒673-1123 兵庫県三木市吉川町湯谷567 TEL 0794-72-1231

参加費：19,500円(昼食代、プレー後会食費込み) 賞品代は同窓会から補助します。

申込先：大阪大学経済学部同窓会事務局
TEL 06-6850-5275(火・木・金の午後1時～5時) FAX 06-6850-5276
E-mail machikane@econ.osaka-u.ac.jp

第21回 総会講演会報告

平成27年7月4日(土) 於：リーガロイヤルホテル 光琳の間



本日は私が社長に就任して5年の間に学んだことをお話しさせていただきます。「経営とはどのようなものか」ということについての一考になればと思います。

まずは弊社、大日本塗料(以下DNT)の概要についてご説明いたします。DNTは販売額において日本で第5位、世界で第23位の塗料メーカーで、売上高730億円、経常利益45億円、海外売上80億円(総売上高の11%)の規模であります。

DNTは島津グループとして1929年に創業し、塗料製造の専門家であった二代目社長の根岸信が1923年に鉛粉を使用した塗料の商業化に成功した後、亜鉛化鉛防錆顔料を使用した塗料製品を「ズボイド」と名付け市場に投入いたしました。「ズボイド」には優れた防食性があり、65年間ブランドとして存続し最長寿命のブランドとして朝日新聞にも紹介されたことがあります。「ズボイド」は大阪中之島にある堂島大橋に商業使用第一号として使用されたほか、橋梁、船舶、その他軍用も含む機械設備等の鋼構造物に広く使用され輸出もされ、1930年代から1990年代前半までDNTの主力製品でした。その主力商品の「ズボイド」が鉛使用の規制により使用できなくなり、ふっ素樹脂塗料の「Vフロン」を開発するにいたりました。「Vフロン」の先進的な技術を示す実績として東京スカイツリーへの採用があります。通常、防食塗料は7年から12年の周期で塗り替えが必要となります。しかし東京スカイツリーはご存知の通り634メートルの高さがあり、容易に塗り替え工事を行うことができません。「Vフロン」は“25年間の塗り替え周期”という超耐久性及び競争力のあるLCC(ライフサイクルコスト)といった特徴をもとに東京スカイツリーや東京ゲートブリッジなどの案件に採用されることとなりました。以上のように、DNTは重防食塗料において日本では首位のサプライヤーであり、この分野では先駆者でもあります。

しかしながら、DNTは重工業の開発、復興には寄与してきたのですが、電気機器や自動車など軽工業への市場参入に出遅れてしまいました。東京スカイツリーの案件は、新設として日本で最後の大型鋼構造物ではないかともいわれております。今後国内においては新設の長大橋案件など重

工業の新規案件の発生は期待できない状況にあります。これからは、国内においてはメンテナンスビジネスやアルミ建材などの市場を開拓しつつ、東南アジア、中東、東ヨーロッパ、中米など海外に市場を求めていくことが必要ではないかと思っております。

過去の記念講演で経営者の皆様がお話された内容とは異なり、私の経営体験には華々しいものがございません。私が社長に就任した2010年の前後は、2008年にリーマンショックがあり、2009年3月期の決算は大赤字となり、2011年3月期に何とかリーマンショックの前の利益水準に戻るも、2011年3月11日の東日本大震災でまた混沌とした状況にありました。

社長就任時、リーマンショックにより国内の塗料事業は需要が20%縮小しており、国内塗料事業についてはこれに見合った構造改革が必要となっていました。物流コストの削減、販売子会社等の吸収合併などのコスト構造の変革や、製品の高付加価値化に着手しました。

このような構造改革の中で「選択と集中」をどう行うかということが非常に重要でした。総合塗料メーカーという看板をおろし、フルラインの製品を持つ分野を絞り、フルライン供給ができない分野では、その中で注力すべきニッチ市場・ユーザーを明確に特定する、このような方針を社内に浸透させるのに3年程度の時間がかかりました。利幅の少ないボリュームゾーン(レッドオーシャン)ではなく、売上が上がらなくとも利益率の高いニッチな市場(ブルーオーシャン)での受注を優先させることが必要なのですが、ともすれば、営業部門では売上が上がるボリュームゾーンでの受注を優先させてしまいます。販売数量や売上が減少しても、それでいいのだという強いメッセージ・方針をトップが社内を示すことが重要となります。

とはいえ、販売数量や売上が減少するのを見ているのは非常に「スリリング」でございます。また、ブルーオーシャンの新規市場も一筋縄で開拓できるものではありません。「経営は選択と集中である」とは言うものの、それを実際に行うのは本当に怖いもので、一つ誤ると会社がつぶれてしまうこともあるのです。「選択と集中」を行うためには、第二・第三のセーフティネットを常に用意し慎重にことを進めることが必要です。また、選択した方針と整合する判断基準を社内に明確に示し、方針に反した結果オーライは認めず、方針に沿った上での失敗は評価する、このような姿勢がトップに求められていると思います。方針の責任はトップにあるのです。

会社というものはなかなか変わることができません。しかし、変わらなければ生き残ることができません。方向性の選択や方針設定は非常に難しいため、前任トップの路線が安易に継承されることがあります。これが一番危ういと私は思います。会社の遺伝子を変えるにはトップ自身が方針を打ち出しそれをどう徹底するか、ということが重要であると考えます。

東京待兼会だより

会長 久保 恵一 (新24期)

東京待兼会では、首都圏の同窓の交流促進を目的に様々な活動を行っています。昨年一年間の主な行事をご紹介します。

講演会・懇話会

法学部同窓会(青雲会)と共催で、講演会及び懇話会を年に二回開催しています。春季はOFC(オープン・ファカルティ・センター)とも共催です。

- 春季懇話会 5月28日 学士会館にて開催。70名参加。
大阪大学副学長(当時)・相本三郎氏による講演「22世紀に輝く大阪大学の未来戦略」
- 秋季懇話会 11月7日 日本教育会館にて開催。80名参加。
SMB C日興証券金融調査部担当部長・末澤豪謙氏による講演「2016年経済・金融市場の見通し」

期別幹事の集い

- 8月27日 ホテルグランドアークにて開催。20名参加。
期別活動との連携強化および若手会員の掘り起しを目的に「ビアパーティ」として開催。新30期(昭和57年卒)以降卒業の同窓に呼びかけ、大変楽しい集いとなりました。



ビアパーティ

ゴルフ部会

- 春のコンペ 4月18日 飯能くすの樹カントリー倶楽部にて開催。12名参加。
- 秋のコンペ 9月12日 昭和の森ゴルフコースにて開催。17名参加。

シニアによるゴルフツアーも好評です。昨年は春に茨城(大洗ゴルフ倶楽部)、夏に軽井沢(プレジデントリゾート)で開催しました(1泊2日)。

また、法学部同窓会との相互参加も促進し、「開かれたコンペ」を合言葉に



経法工3学部対抗コンペ

活動しています。3年前から工学部同窓会(OKC)との交流も実現し、今年1月9日には経法工3学部対抗コンペを開催、44名参加(12組)という大規模コンペとなりました。

このほか、会員名簿の整理や連絡網(メールアドレス)の整備に加えて、Facebookのページもオープンするなど、組織化を意識的に進めています。

告知

第15回東京待兼会総会を開催します
平成28年5月27日(金) 18:00～
学士会館(東京一ツ橋)

名古屋待兼会だより

会長 近藤 俊雄 (新12期)

名古屋待兼会は、経済学部、法学部の卒業生を中心に昭和30年代に発足、現在は理系学部の卒業生も対象とする東海地区の阪大卒業生の同窓の集いです。

例会は「小の月の第三土曜日の18時から」を基本に、名古屋の中心部に近いホテルで開催しています。毎回20名強の出席があり、冒頭に、会員が交替で様々なテーマで約30分話をし、その後は懇談としています。ほぼ全学部の卒業生が顔を揃えることもあり、バックグラウンドの異なる人たちとの、通常ではあり得ない出会いと交流があります。これも名古屋待兼会の特色の一つです。

毎年11月は総会を開催しています。総会では経済学部、法学部から1年おきに学部長をお迎えし、ご講演をいただいています。昨年は法学部長の竹中先生をお迎えしました。

多くの先輩により築かれた名古屋待兼会ですが、新たな会員の参加を心よりお待ちしております。(同窓会事務局までご連絡ください。)

■ 2月例会「ウィルフィをご存知ですか？」

萩原悦子さん(H7法)

■ 4月例会「四国八十八カ所 歩き遍路考」

藤原政雄さん(S46経)

■ 6月例会「県議選を振り返って」

高木浩司さん(S55人科)

■ 9月例会「日本の伝統文化 鵜飼について」

中嶋利幸さん(S46法)

■ 11月総会

法学部長の竹中浩先生をお迎えし、母校の現況と将来構想についてご講演をいただきました。



11月総会での竹中先生のご講演

期会、ゼミ会だより

新制4期(昭和31年卒) 最終会

毎年11月に開催してきた新制4期会を、2015年11月6日、定会場の「パノラスカイレストラン・アサヒ」で開催。メンバーの高齢化もあり、今回を最終会とした。

当日は11人が参加。スピーチでは、元気に最終会に出席できたことへの感謝などが語られた。最後に、幹事から、長年の同期会への参加に対するお礼を述べ、今後の健康を祈りつつ閉会した。



新制6期(昭和33年卒) 「33会」

11月20日、大阪マルビルの「桂」にて、新制6期「33会」を開催。91歳でなお元気な藤田晴先生をお迎えし、千葉や岐阜からの同窓生も含め、17人が参加した。メンバーも大多数が病気と共生している状況であるが、今後もしばらく続けて行こうとの結論を得て、散会した。



新制10期(昭和37年卒) 「まちかね会」

2015年11月21日、東京の「赤坂飯店」で10期同期会「まちかね会」を開催した。当日は関東地区の同期生20人が出席し、昔話や喜寿を迎えての近況などを報告し合った。

次回、2016年3月26日の再会を約し散会した。



新制14期(昭和41年卒) 卒業50年合同同期会

1966年卒業にちなんだ14期「碌々会」は、これまで東西別々に集まっていたが、卒業50年を記念して、初めて東西合同、9月27日・28日の1泊2日での同期会を開催した。

東西の中間点・金沢に14人が集合。学生時代の思い出に話が盛り上がり、大分全寮歌で締めとした。今回は、大分や日光などと、あちらこちらの候補を上げて再会を期した。



新制13期(昭和40年卒) 同期会

卒業50周年を記念して、2015年10月23日に「母校を訪ねる集い」を開催、14人が参加した。大学で経済学研究科長の堂目卓生教授の講話をお聞きし、懇親会では青春時代の思い出話に花が咲いた。

また、今年2月19日には、大阪大学中之島センターで同期会を開催し、参加者10人が和気あいあいと懇談した。

来年も、2月24日12時から、同じ場所で開催する予定である。



「期会・ゼミ会だより」は、
同窓会ホームページにも掲載しています。

同期会の開催等の会員情報が必要な方は、
同窓会事務局までお問い合わせください。



大阪大学中之島センターやキャンパス内の施設などを会場に、一般向けに公開されている講座やセミナー、団体や企業と共催するイベントがいろいろあります。卒業生はもちろん参加可能！無料のものが多く、有料でも手頃な金額です。阪大卒業生向けのセミナーなども行なわれています。

経済学部同窓会セミナー

2年前から始まったのが「同窓会セミナー」。初回は、東京大学大学院・市村英彦教授（新29期）の講演「ビッグデータから見えるもの」。2回目は、日本総研・廣瀬茂夫理事の講演「関西経済、どうすりゃ浮上するか」。懐かしい面々が集まり、新進気鋭の先生方とも会話が弾みました。3回目の今年は3月4日、大学院経済学研究科長・経済学部長の堂目卓生教授をお招きし、「経済学と人間学～アダム・スミスの総合知～」というテーマで講演いただきました。スミスの生きた時代背景から生まれた社会観・人間観・市場観が現在にも通じることや、人々の幸福を追求するという経済学の目的を実感させられました。（写真2枚も今年のセミナー）

「同窓会セミナー」は、いずれも同窓会活動の拠点である西梅田・ハービス大阪の「ガーデンシティクラブ」で開催。講演終了後に懇親会も開かれています。



OFC (オープン・ファカルティ・センター)

大阪大学経済学部50周年記念事業基金を原資として、公開講義や講演会、就活学生向けセミナーなど様々な催しを主催。企業や行政機関・団体と大学とをつなぎ、社会貢献の一端を担っています。

OFC公開講義

「大阪大学経済学部イノベーション・マネジメント寄附講座」として去年は、全15回の公開講義「ビジネス・イノベーション」が行なわれました。革新的な事業展開をしている企業経営者の講演や、自動車メーカーや製薬会社の研究開発でのイノベーション、といった興味深いテーマばかり。

取材にお邪魔した日の、新関西国際空港会社・安藤圭一社長の講義（写真2枚とも）は、学生・卒業生・一般社会人の受講生で大入り満員でした。インバウンド需要急増やLCC格安航空会社の盛況で、長年の不振を脱し今や絶好調の関西空港。伊丹空港と経営統合後の空港戦略について、LCC専用新ターミナル増設や空港運営の民間公募の進捗などホットな話題を交えて語っていただけました。



OFC講演会

大阪大学教員や知識人による講演を一般向けに行なっています。去年は6月12日に阪大中之島センターで、外務省地球環境問題担当大使の堀江正彦氏による国際交渉をテーマにした講演「イルカさんとウナギくん」。9月9日には中之島センターで、㈱友人社 代表取締役で元京都市観光政策監の清水宏一氏による講演「京都観光のヒミツ」が行なわれました。

また5月28日には東京学士会館で、大阪大学副学長 相本三郎氏の講演が、「22世紀に輝く大阪大学の未来戦略」をテーマに開催されました（写真2枚とも）。



講座に参加しよう

卒業生室セミナー

「卒業生室」は、10万人を超える大阪大学卒業生と大学との結束と交流を深めることを目的に設置されました。2014年4月から本格的に稼働し、卒業生を対象にした様々な事業・企画を展開しています。

これまで、毎年5月の「ホームカミングデー」に加え、「大阪大学リーダーズフォーラム」「大阪大学の集い」「相続セミナー」「七大学若手会」などを開催しています。

昨年11月の「第2回相続セミナー」では、経済学部OBで、税理士の田中俊男さん（新31期）が講演されました。



大阪大学21世紀懐徳堂

市民と大学をつなぐ社会学連携や社会貢献活動の窓口として、2008年に設置されたのが「大阪大学21世紀懐徳堂」。地域社会に開かれた大学づくりを目指して、公開講座やシンポジウム、サイエンスカフェなど、誰もが参加しやすいイベントを企画・運営しています。

Handai-Asahi 中之島塾

朝日カルチャーセンターと大阪大学との共同講座。文化、歴史、芸術、理学、工学、医療など様々な分野の講師が、大学の研究成果や旬のテーマを分かりやすく紹介します。

21世紀懐徳堂が企画、朝日カルチャーセンターが運営し、3ヶ月ごとに受講生を募集。土曜日に約1時間半、中之島センターで開催され、会費は概ね1620円です。

4月16日は、経済学研究科の鈴木敦子教授助手による「くずし史料から読み解く江戸期の商家経営」とのテーマで開催されます。



ラボカフェ

京阪中之島線の「なにわ橋」駅構内のコミュニティスペース「アートエリアB1」で開催されるレクチャー&対話イベント。平日夜を中心に、大阪大学の教員らがカフェマスターとなって、哲学、芸術、文学など、多岐にわたるテーマで、皆で語り合うプログラム。参加費は無料です。



i-spot 講座

淀屋橋odona 2階にある「大阪市まちづくり情報発信施設“アイ・スポット”」で、大阪市と大阪大学が共同で開催する公開講座。主に平日夜に開催され、「学び合う」を意識したテーマ設定と講座スタイルが特徴です。2015年度後期は、「水の都の物語」「都市大阪、今昔」の2シリーズで開講されました。各回の申込制（電話・メール・FAX）で、定員は先着30名、参加費は無料と、気軽に参加できます。



植物探検隊

普段は一般には開放されていない待兼山での植物の観察会。これまで、春・秋の年2回、計14回開催されています。次回は、4月23日・5月7日に開催。講師の解説で植物観察した後、大阪大学総合学術博物館・待兼山修学館を見学し、最後に、21世紀懐徳堂スタジオでトークセッションが催されます。参加費は無料です。



新幹事紹介



64期代表幹事
田中千紗乃

このたび、第64期代表幹事を務めさせていただくことになりました田中千紗乃です。

憧れの大阪大学に入学したと思いきや、早くも卒業一まさに「光陰矢の如し」です。大学生は比較的自由に時間を使えますが、私の大学生活4年間の大部分を占めたのは、やはり経済学部生との交流でした。大阪大学経済学部では期待通りもしくはそれ以上の環境で、学習に取り組むことができました。これは、周囲に優秀な学生が多いためからこそだと思います。また、私は大学2年次より同窓会学生会（ECOCA）の運営メンバーに加わり、同期はもちろん、先輩や後輩と共に様々な活動に取り組み

ながら交流を深めました。

こうした経済学部生との交流の機会を学内だけでなく、卒業後も同窓会を通じて得られること、さらにその同窓会の活動に携われることを大変うれしく思います。早速この年明けに、代表幹事の先輩方と交流させていただく機会があり、そこで改めて同窓会の存在意義や魅力を強く感じました。

今後、皆さまにお世話になることが多々あると思いますが、力を惜しまず、代表幹事という自らの務めを微力ながら果たしていく所存です。どうぞよろしくお願いたします。

平成27年度経済学部卒業生就職先 (大学院卒を含む)

(順不同)

就職先	人数	(株) I H I	1	(株) 京 都 銀 行	1	(株)ロイヤリティマーケティング	1
財務省関東財務局	1	(株) ク ボ タ	2	(株) 池 田 泉 州 銀 行	1	三菱スペース・ソフトウエア(株)	1
航空保安大学校(国土交通省)	1	(株) ジェイテクト	1	(株) 七 十 七 銀 行	1	東京スカイライトコンサルティング	1
門 司 税 関	1	グ ロー リー (株)	1	(株) 福 岡 銀 行	1	日本ユニシス(株)	1
裁 判 所	1	三 菱 電 機 (株)	2	(株) あ お ぞ ら 銀 行	1	鈴 与 シ ン ワ ー ト (株)	1
大 阪 府 庁	1	(株) 東 芝	1	(株) 関 西 アーバン銀行	1	(株) W A V E	1
大 阪 府 警 察	1	(株) 日 立 製 作 所	1	野 村 證 券 (株)	2	(株) カ ブ コ ン	1
三 重 県 庁	1	パ ナ ソ ニ ッ ク (株)	1	大 和 証 券 (株)	1	(株)コナミデジタルエンタテインメント	1
香 川 県 庁	1	キ ヤ ノ ン (株)	1	日 本 生 命 保 険 (相)	2	(株)サイバーエージェント	1
京 都 市 役 所	1	京 セ ラ (株)	1	住 友 生 命 保 険 (相)	2	(株)ワークスアプリケーションズ	1
豊 中 市 役 所	1	富 士 通 (株)	2	三 井 生 命 保 険 (株)	1	東 日 本 電 信 電 話 (株)	1
高 槻 市 役 所	1	日 本 ヒューレット・パッカド(株)	1	東 京 海 上 日 動 火 災 保 険 (株)	1	(株) 毎 日 放 送	1
葛 城 市 役 所	1	(株) メ ガ チ ッ プ ス	1	三 井 住 友 海 上 火 災 保 険 (株)	2	名 古 屋 テレ ビ 放 送 (株)	1
(株) 高 田 工 業 所	1	ト ヨ タ 自 動 車 (株)	2	アイペット損害保険(株)	1	関 西 電 力 (株)	1
共 栄 フ ー ド (株)	1	ス ズ キ (株)	1	(株) ジェーシービー	1	四 国 電 力 (株)	1
三 菱 レ イ ヨ ン (株)	1	(株) ワ コ ー ル	1	農 林 中 央 金 庫	2	九 州 電 力 (株)	2
レ ン ゴ ー (株)	1	三 菱 商 事 (株)	2	住 友 林 業 (株)	1	大 阪 ガ ス (株)	1
三 井 化 学 (株)	1	住 友 商 事 (株)	1	東 京 建 物 (株)	1	(株) 教 育 企 画	1
積 水 化 学 工 業 (株)	1	伊 藤 忠 商 事 (株)	4	(株) レ オ パ レ ス 2 1	1	(株) ア ッ プ	1
ダウ・ケミカル日本(株)	1	丸 紅 (株)	1	西 日 本 旅 客 鉄 道 (株)	3	(株)博報堂DYインターソリューションズ	1
泉 (株)	1	双 日 (株)	1	近 鉄 グループホールディングス(株)	1	(株)アックスコンサルティング	1
第 一 三 共 (株)	1	伊 藤 忠 丸 紅 鉄 鋼 (株)	1	西 日 本 高 速 道 路 (株)	1	テロイトトマツコンサルティング(株)	3
JX日鉱日石エネルギー(株)	1	(株) メ タ ル ワ ン	1	(株) N T T デ ー タ	2	ア ク セ ン チ ュ ア (株)	1
岡 本 (株)	1	ア ル コ ニ ッ ク ス (株)	1	日 本 I B M (株)	1	御 堂 筋 税 理 士 法 人	1
住 友 ゴ ム 工 業 (株)	1	(株) ニ ト リ	2	T I S (株)	1	新 日 本 有 限 責 任 監 査 法 人	1
J F E ス チ ール (株)	1	日 本 調 剤 (株)	1	NECネクサソリューションズ(株)	1	大 阪 商 工 会 議 所	1
(株) 淀 川 製 鋼 所	1	(株) 三 菱 東 京 U F J 銀 行	8	(株) D A C S	1	就 職 計	157
DOWAホールディングス(株)	1	(株) 三 井 住 友 銀 行	7	コベルコシステム(株)	1		
日 本 精 線 (株)	1	(株)みずほフィナンシャルグループ	4	トランスコスモス(株)	1	進 学	15
住 友 電 気 工 業 (株)	1	(株) み ず ほ 銀 行	1	フューチャーアーキテクト(株)	1		
三菱日立パワーシステムズ(株)	1	(株)リそなホールディングス	1	(株) B S C	1	合 計	172
川 崎 重 工 業 (株)	1	三 井 住 友 信 託 銀 行 (株)	1	(株) ケ イ エ ス ピ イ	1		

平成28年2月末現在、大学で集計されたデータをもとに作成したものです



滋賀銀行 会長
大道 良夫 さん
(新20期)

Q地元のご出身、どんな学生生活でしたか

1年のときが大学紛争で、ほとんど自宅待機でした。このままだと全員留年ですよと言われて、1月から3月に集中講義したんです。友達の下宿に転がり込んで授業ばかり。それで2年からは楽に。結局4年間、自宅から2時間弱かけて通学しました。

体育会のサッカー部に入って夏までは頑張っていたんですが、秋の新人戦前に先輩とけんかして退部してしまいました。後期の授業で必修の語学が夕方にあったんですが「新入生は4時に来てボールに空気を入れて待っていないといけない」と高圧的に言われ「留年覚悟とはおかしい」と言ったら「何か文句あるんか」と言われて・・・血気盛んだったものですから。

サッカー部をやめた後は、旅行が好きだったので地理研究会に入りました。一番印象に残ったのは、島根県・隠岐の知夫里島に2週間行ったこと。テレビはないし、新聞は1日遅れ、村長さんの家が民宿で離れに泊めてもらいました。近所の方に誘われて磯でサザエやウニを採って夕食のおかず。

Q学生時代、アメリカ西海岸に長期間

2年の夏休みに2か月ほど行きました。UCLAのマースクールに参加したんです。2週間かけて行った船内で語学研修があって、学生が帰省して空いた学生寮に泊めてもらって1か月間のスクール。残りの期間はディズニーランドやハリウッドなどを見て廻りました。

Q大澤先生の下でコンピュータのプログラミングも

長濱ゼミで「財務諸表論」。気さくで温厚な先生で、紅葉シーズンには眞面に行ったり、和気あいあいとやっていました。

阪大に大型コンピュータが入ってまもない頃でしたが、大澤先生の「マーケティング」の講義を取ったら研究室に冷蔵庫くらいのコンピュータがあって、助手の方たちが「こんなことができるんや」と教えてくれるんです。興味を持っているらやっていたら先生が「大くん、マークシートにプログラム作って〇〇という答えが出てきたら合格」やと。こうしてITに早くから目覚めて、後に家でも高額だったパソコンを買いました。大学の授業にマーケティングという科目が入ったのも、大澤先生が本当に先駆的な方だったからだと思います。

Q就職活動では、地元金融機関の滋賀銀行に

昭和47年は高度成長期の終わりで、引く手あまたでした。世界を駆けまわるのもいいなと思ったんですけど、長男だったので。親が固い銀行員がいいということで滋賀銀行を訪問したら採用担当の人事課長が阪大の先輩で、一も二もなく「来なさい」と。

Q入行後、若手・中堅のころは

一生懸命仕事をしました。期待が大きかったのかなあと思ったのは、入行5年目くらいのときに、地方銀行協会が半年間の大学留学があったんです。アメリカ・イリノイ州にあるブラッドレー大学への20人ほどの研修団に。「君行っといたらどうや」とチャンスを与えてもらったのは、ラッキーやったと思います。いろんなことに関心があって、大阪支店勤務時代には通勤の電車内で勉強して「宅建」の資格を取りました。

Q学生時代にコンピュータに精通したことが、仕事に活かされた

昭和62年くらい、まだ銀行に第3次オンラインが始まったころに、通常事務にパソコンを使うまでにはなっていないんですが、家のパソコンで便利さを知っていたので、支店に買ってもらいました。「取引明細」を作るのに、算盤では1日かかるんですが、パソコンなら2回目からは数字を入れるだけでパッとできる。事務用の小型パソコンを使い始めたのは、自信持って僕が一番早かった。

Q地方銀行、地元企業のよさを実感

メガバンクに行った方たちは転勤の繰り返しで家族にご負担をかけています。そうした全国区の企業の方から「地元企業を選んで君はラッキーやなあ」と言われ「選択してよかったなあ」と。初めは日本経済の表舞台に乗り損ねたみたいだと思っていたんですけど、気持ちが変わってきました。いろんな方とも地銀では一生のお付き合いです。地域・取引先と一緒にやっていく喜び、地域に根ざした企業ならではのよさだと思います。

Q滋賀県は、ずいぶん人口増加が続きましたね

県全体では減少に転じつつありますが、南半分、特に湖南ゾーンは、まだまだ人口が増えます。活発になっていく街づくりのお手伝いをしていく。銀行間の競争も激しいですけど、心配はしていません。一方で大津市街では、中心商店街の活性化が課題です。商工会議所の会頭も仰せつかっていますが、銀行という枠を超えてやっていくのは、やりがいがあります。観光客誘致では「京都でゆっくり過ごした後は、滋賀で身体を動かしたり、湖を眺めて癒しの時間を持ちませんか」という売り込みをしています。

Qこれから就職される学生さんに

リクルート用に自分自身で呼びかけるビデオを作っているんですけどね。企業を訪問したらまず理念を見て下さいねと。滋賀銀行の場合は、近江商人の「三方よしの精神：売り手よし、買い手よし、世間よし」にヒントを得た「自分にきびしく、人には親切、社会につくす」という経営理念があります。「こうした経営の理念や目標が自分に合っているか、働いている方たちが生き活きとされているか、見て下さいね」と言っています。



(株)電通 電通総研
メディアイノベーションラボ統括責任者
メディアイノベーション研究部 部長

奥 律哉 さん
(新30期)

Q現在のお仕事内容、入社時は

メディア環境の変化に伴うオーディエンスインサイト、テレビの4K・8K化、放送と通信の連携といったテクノロジー、著作権やビジネスモデルなどを研究しています。広告主さんや媒体社の方に提案やコンサル、講演も。経済紙や業界誌に掲載するページを持っているので、部員と手分けして執筆しています。

入社後人事局に3年、それからラジオテレビ局のスポットの放送局担当に。その後広告主側の担当をする業務推進部に異動し、全国のスポットCMの発注と取りまとめを行っていました。発注にあたっては、当該キャンペーンのターゲットなどを勘案し、OAされるべき時間帯や規模を検討します。

Q電通入社のきっかけは少年時に

小学生のとき大阪万博に校外学習を含めて十数回通って全館制覇したのですが、その時の公式ガイドブックに「電通」とあるのをみて親父に「何、この会社」と聞いて知りました。大学では大澤ゼミがマーケティングだったので「行きたいな」と。

Qセールス部門でデータを分析、研究開発系・シンクタンクに

業務推進部にキャンペーンレポートが4,000件ありました。主要な広告主のキャンペーンについて、スポットCMの本数と量（GRP）がOAされて、その結果どれくらいのCM認知率があるかを調査したものです。CMの内容や時間枠の取り方はこうで、新聞・雑誌広告の表現、タレントは…とレポート化されたものです。当時このレポートはたまっているだけだったのです。それを「有効活用しろ」と言われて、4,000件の事例を分析し直して「どのくらいのスポットを投入すると、どのくらいのCM認知率になるかの予測モデル」をプログラミングして作りました。大澤ゼミでパソコンを使ったシミュレーションモデルを作ったスキルがあったので、それじゃあということで。外部の専門家の協力を得て、ロジックなりいろいろ作ってモデリングしてソフトを組み上げました。

Q大澤ゼミでは、コンピュータに没頭

大来佐武郎さんが訳した「成長の限界」、戦争や人口爆発といったシナリオで世界をマクロモデルにした本を研究テーマにして、大澤ゼミで大型計算機センターのマシンと自宅のPCで、シミュレーションしました。文系なのにプログラム言語のさわりや、アルゴリズムなどを勉強するきっかけ

けになりました。元々頭が理系なので面白がってやっていて、大型計算機センターでパンチカードを打ってたりすると、いつもいるので助手か理系の学生と思われていました（笑）。昼夜かかわらずやったことが、会社でソフトを組み上げるというスキルの礎になっています。

Q大阪大学交響楽団（オーケストラ）でチェロを

入学式で、阪大オケの演奏するワーグナーを聴き、高校の友人の勧めで入部しました。定期演奏会まで半年間ひたすら3曲練習して何とか。今はすっかり聴くだけになっています。

Q広告プランの最適化エンジンを開発

「テレビスポットを打ってCM認知率がどれだけ上がるかは、広告主の業種で決まる要素が大きいんですね。上がりにくいのは不動産関連。一方、化粧品や車といったイメージ先行のものでスポットを大量投下すると一気に認知率が上がる。過去の事例から計算するので、子ども・タレント・動物…といった因子が増えるとか減るとか、分析してモデル化しました。それが使い勝手がいいと評判になりましたね。やがてマスメディア全部を対象にする「オプティマイザー」という広告プランの最適化エンジンをチームで作ることに。

予算が10億円。キャンペーン期間2か月、ターゲットはM1＝男の20～34歳というときに、ある一定の条件下でテレビと新聞・雑誌・ラジオにどう予算配分すればいいかを演算させるソフトが「オプティマイザー」なんですね。10億のうち7億がテレビ、新聞が2億、ラジオが5,000万といった結果が出る。「3回以上テレビCMに当たって、なおかつ新聞広告に1回当たる人の数を50%以上にできます」こういった逆算をする訳ですね。「15億あれば、もっとできます」とか。こうしたエンジンが改良を重ねて、今ではネットメディアにも対応し、メディアプランナーが使う基本ツールになっています。

Qテレビ離れと言われますが、若者たちは

SNSなども進化してテレビと一緒に楽しむ。手元のスマホがメインでテレビは音で聴いて気になると観る。彼らは面白いとなるとLINEやTwitterで拡散するんですね。だからテレビの影響はものすごく大きい。テレビ受像機で見るシーンは減ってきていますが、テレビコンテンツ離れは起こしてない。「放送をネットも駆使して認知させる」という手段とビジネスモデルが求められているということに尽きると思います。

Qオフタイムは

スキーが趣味で冬はできる限り、この年末は富良野に4日間くらい行ってきました。休日はジムへとストレッチに。3年で5キロくらい絞りました。

Q若い人へのアドバイスを

大澤ゼミの時代から最先端のことを追うことになって。データの分析とかモデリングは理系ですし、グループインタビューや文脈でアプローチするのは文系でもあります。いつも端境で生きてきたのが不思議だなと思います。領域の隙間に何かあるという気がするの、若い人たちには狙ってほしいと思います。



ノートルダム清心女子大学
人間生活学部教授

豊田 尚吾 さん
(新33期)

Q大学教授への転身のきっかけは？

私は、1985年から2015年まで大阪ガスで勤務していました。大半の期間、社内および外部機関での調査・研究業務に携わっていましたが、一昨年、自分自身のプロフィール（行ってきたこと）と現在の立場・仕事（居場所）が一致していないのではないかと社外の方に指摘されたのがきっかけで、漠然とはありますが外部への転身を考えるようになりました。50歳半ば位までに機会があればとの姿勢で、研究員の人材公募に応募するという形で行動を起こしました。その結果、縁あって昨年岡山にあるノートルダム清心女子大学にお世話になることになりました。「人間生活に関する科学的考察と人間らしい生活の実現に関する価値的考察とを学際的に統合した、人間に視点を置いた生活学を目指す」という学部のアドミッションポリシー（受入方針）が、自分の「行ってきたこと（行おうとしてきたこと）」と重なるのではないかという思いを持ったことが応募のきっかけです。

Q大阪ガスではどのような仕事を？

1985年に大阪ガスに入社し、当初はガス製造所で総務業務を担当しました。

3年後の88年に日本経済研究センターに出向し、金融機関や他のエネルギー関連企業出身のメンバーとともに経済予測などの分析作業を担当。その後、アメリカ・コロンビア大学の東アジア研究所に1年間派遣され、研究員生活を送りました。

91年に大阪ガスに帰社し、7年間、経済・経営に関する調査業務に従事した後、98年からは社内にある「エネルギー・文化研究所」で、エネルギーや消費者行動論をベースにした「ウェルビーイング（良い生活）」実現の可能性に取り組んできました。

2002年からの2年間は、学習院大学経済学部の客員教授をフルタイムで務めました。大学では、環境経済学などを担当しました。環境経済学とは、例えば「環境を損なうような外部不経済性を伴う製品」など市場では効率的に供給できない財について、規制やデポジットなどで再市場化

することで、その失敗を解決しようというものです。会社生活の大半をこのような研究的業務を軸に過ごしてきたことが、現在のバックボーンとなっています。

Q現在の活動内容は？

現在、岡山市にあるノートルダム清心女子大学の人間生活学部で勤務しています。人間生活学部とは、自由で豊かな人間の暮らしについて、人間・福祉・生活・環境・文化の5つの視点から研究する学部です。一つの分野に特化していないため、フレキシブルに研究や授業を行うことができるのが特徴です。

私は、その中で、生活経済学・生活経営学などを担当しています。これは、ウェルビーイングを実現するために、どのようなライフマネジメントを行うべきか、ということを探るものです。

また、当大学は中国・四国地方の地元出身者が多く、地域に人材を提供する教育機関としての役割が特に重要だと感じています。多感な時期の学生の教育に継続して携われることは、企業内の研究所にはなかったミッションであり、非常にやりがいを感じています。

Q学生時代の思い出を教えてください

経済学科で、中谷巖先生のゼミに所属していました。ゼミでは、3回生・4回生が4班に分かれて研究に取り組み、私は企業の財務分析を行いました。

また、サークルでは、友人たちと経済研究会を立ち上げ、担当を決めて、経済に関する発表やディスカッションを行っていました。

私自身、明確な目的意識を持って経済学部に入社した訳ではありません。しかし、先生方が熱心に指導してくださったことで啓発され、経済学を学んだという実感を持つことのできた4年間であったととても感謝しています。結果として、それが大阪ガスでの、そして今の仕事につながっています。

Q学生の皆さんにアドバイスを

「出会いを貪る」という姿勢で何事にも取り組んでもらいたいと思います。現在勤務している大学の学生にも「機会費用」の考え方を大切にするよう指導しています。皆さんは他のすべてのチャンスを捨てて（犠牲にして）大阪大学での4年間を選択したので、それに見合った何かを得なければあまりにももったいない。二十歳前後に出会った人や学問は、その後の人生を大きく左右します。漫然と過ごしていても、偶然出会えることもあります。面倒でも自ら一歩踏み出すことで、そのチャンスはより大きくなります。良い出会いに巡り合うため、皆さんの人生の中でも「最高の時」になりうるこの4年間だけは「貪欲に徹する」姿勢を貫いて欲しいと思います。

1. コンビニエンスストアから納入頂けます

今年度から、年会費(定額:5,000円)をお近くのコンビニエンスストア(同封の払込取扱票裏面に記載)から入金できるようになりました。ぜひ活用ください。

ただし、コンビニ収納は定額となっています。

協賛金対象の方には、従来通り郵便局のみの払込取扱票をお送りしています。

2. 同窓会WEB名簿について

同窓会では、従来の紙媒体による会員名簿は廃止して、平成26年2月から同窓会のホームページにWEB名簿を掲載しております。同窓会ホームページのトップページからアクセスし、一昨年の会報に同封したログインIDとパスワードを入力すれば会員名簿をご覧頂けます。お忘れの方は、お手数ですが、事務局までお問い合わせください。会員情報の検索のほか、ご自身の会員情報の変更手続きも可能になっております。

なお、同窓会年会費(5,000円)の未納の方は、ご本人のデータしか閲覧できませんので、未納の方につきましては、早急に同封の払込取扱票により年会費の振込を頂くようお願いいたします。また、年会費未納者の閲覧制限をはじめとする各種のルールに関しましても、WEB名簿に記載させて頂いておりますので、ご利用前にご一読頂く様をお願いします。

従来の紙媒体による名簿に比べて、会員の皆様にはご不自由をおかけしますが、昨今の社会経済情勢と同窓会の財政状況をご理解頂いた上で、同窓会活動へのご協力よろしくお願いたします。

3. 会員管理部会からのお願い

- ・年会費は5,000円です。
- ・同封の払込取扱票により、コンビニエンスストアもしくは郵便窓口で振り込みをお願いします。

年会費免除

- ・会則により卒業後(正会員資格取得後)40年を経過した方には年会費が免除されます。
- ・年会費が免除された方で志のある方には協賛金をお受けしておりますので、よろしくお願いたします。
- ・協賛金は一口1,000円で、できれば3口以上をお願いしております。同封の払込取扱票により郵便局窓口で振り込みをお願いします。

年会費の口座振替

- ・年会費は銀行等の口座から自動振替が利用できます。
- ・振替日は7月7日です。口座振替を希望される方は事務局へ連絡が来ますと、申込用紙を送付させて頂きます。
- ・また、同封の不明者連絡カードの裏面に☑を入れてご返信頂ければ、事務局より自動振替申込書をお送りします。
- ・ただし、口座振替は翌年度からになりますので今年度の年会費は郵便局で振り込み願います。

同窓会会員証(GCCOカード)

- ・年会費及び協賛金をお支払頂いた方には、同窓会会員証を送付させて頂きます。
- ・会員証をご提示頂くと、当同窓会が加入している大阪梅田のハービスプラザ6階の会員制クラブ「ガーデンシティクラブ大阪」をメンバー扱いでご利用できます。会員証は隔年発行で有効期限は2年とさせて頂きます。

4. 年会費納入と名簿情報確認のお願い

- ・**会員データ確認票**を同封しています。登録データをご確認頂き、修正・変更等が必要な場合は、WEBページから変更手続きをしてください。(ファクシミリで同窓会事務局までお送り頂いても結構です。)
- ・現在、年会費未納者が多数に上っており、このままでは、同窓会活動に支障をきたしかねません。WEB名簿サービスでは、年会費未納者はご本人以外の会員データを閲覧することができません。これを機会に年会費の納入をお願いします。
- ・なお、年会費を納入頂いた方は、納入頂いた年度と翌年度についても名簿閲覧が可能になります。(例:平成28年7月に会費納入すると平成30年3月まで閲覧可能)
- ・**消息不明者のリスト**を同封しています。同期、同じゼミ、同じ勤務先などで所在をご存じの方がおられましたら、同封の不明者連絡カードに記入の上、個人情報保護シールを貼付しご返送願います。
- ・代表幹事の方には、同期で消息不明になられている方のご住所の確認作業をよろしくお願いたします。
- ・同窓会事務局への連絡は、メールまたは電話(火・水・金曜日の午後1時~5時)、ファクシミリでお願いします。
Eメール: machikane@econ.osaka-u.ac.jp
電話: 06-6850-5275 FAX: 06-6850-5276

事務局からのお知らせ

■坂本悟氏(新24期、1976年卒)、 小林敏男氏(新31期、1983年卒)が副会長に就任

昨年の第21回総会で、新たに坂本悟氏、小林敏男氏が副会長に就任されました。前任の月原紘一氏(新18期、1970年卒)、菅沼敬行氏(新18期、1970年)には、長きに渡り副会長をお務めいただき、同窓会の発展にご尽力いただきました。この場をお借りして、お礼申し上げます。総会の記念講演の要旨は3ページをご覧ください。

■経済学部同窓会ホームカミングデイを5月1日(日)に開催

毎年5月の連休期間中に開催される大阪大学ホームカミングデイにあわせて、経済学部同窓会ホームカミングデイを豊中キャンパスで開催します。全学の行事終了後、13時30分から1時間半程度、経済学部本館の中庭会議室で懇談します。是非ご参加ください。

■次回の総会は、2017年7月1日(土)に開催の予定です

会員の皆様にはふるってご参加いただきますようご予定おきください。

■OFC事務局の城山巖夫氏(新14期、1966年卒)、坂本心さんが退職

同窓会学生部会のお世話をいただいていたOFC(オープンファカルティセンター)事務局の城山さん(3月末)と坂本さん(2月末)が退職されました。学生部会の活発な活動を、暖かく時には厳しくご指導いただきました。たいへんお世話になりました。お礼申し上げます。

■OFC事務局の後任に玉江尚之氏(新23期、1975年卒)が就任

城山さんの後任として4月1日から玉江さんに事務局をお願いすることになりました。同窓会学生部会のお世話もよろしくお願いたします。